

第9回 館山市議会 議会報告会

意見交換 テーマ：公共施設の再編 <趣旨説明>

今回、「公共施設の再編」をテーマとした理由を簡単にご説明させていただきます。

一つには、公共施設の老朽化が進んでいるという問題がございます。

現在、館山市では、建設から30年以上経過した施設が全体の8割に達しています。

これらの施設規模を現状のまま維持していくためには、施設の建替えや大規模改修に多額の費用が必要となります。

次に、人口減少問題があります。館山市の人口は令和2年の国勢調査では、約4万5千人ですが、20年前の平成12年と比較すると約6千人減っており、割合としては13%も減少しています。

これからも減少傾向は続くと予測されていますので、人口規模に応じた公共施設の適正規模についても検討していかなければならないものと考えます。

さらに65歳以上の人口は20年前の1.5倍、また、保健衛生、医療、子育て、高齢者福祉などの社会保障、社会福祉にかかる予算も増大しています。

一方で、少子化は進み、働き世代の生産年齢人口は減少し、それに伴い、税収の減も想定され、将来にわたり厳しい財政状況が予測されます。

館山市では、このような将来の人口規模や財政状況を見据え、中・長期的な視点による公共施設の更新や統廃合・長寿命化などを計画的に実施するための取組を行なっております。

平成28年度には、公共施設の利用状況や今後の在り方等について、市民の意識を把握するために、「公共施設に関する市民アンケート」を実施しました。そして、これらのアンケート調査の結果も参考にしながら、平成29年度に「館山市公共施設等総合管理計画」を策定しています。

この「市民アンケート結果」と「公共施設等総合管理計画」は館山市のホームページで公開されています。

また、館山市では、「個別施設計画」を策定し、施設の種別ごとに今後の維持管理の方法や存続・廃止・統合などの方向性を示し、公共施設の再編に取り組んでいるところです。

具体的には、例えば、今年度末で廃止予定の「温水プール」や「老人福祉センター」についても、個別施設計画で方向性を検討し、利用者アンケートなどを行いながら、廃止を決定しています。

また、北条幼稚園を中央保育園と統合して、新たな「こども園」を作ろうとしています。老朽化が進む中央保育園の統合と廃止も、「個別施設計画」にうたわれています。

次に、小学校についてですが、教育委員会では、「将来の学校の在り方に向けた基本指針」に基づき、少子化が進む小学校の再編について、各地区において、地域の方や保護者の皆さんを交えた協議が進められています。

皆さんの地元にある地区公民館についても、ほとんどの施設が昭和40年代～50年代の初めに建てられたもので、築50年近く経過しており、将来の地区公民館の再編について、今年の夏から協議が始まったところです。

さらには、現在使われていない公共施設への対応もございます。例えば廃校となっている小学校や、現在の館山中学校（旧2中）も新校舎の完成後には廃校となりますが、その土地や建物などの有効活用へ向けた検討も必要です。

このように、館山市の公共施設を取り巻く環境にはさまざまな課題があり、それぞれに賢明な対応も求められると思います。

この後、皆さんから、今後の公共施設の在り方などについて、忌憚きたんのないご意見をお聞かせいただき、議会としても参考にして参りたいと考えまして、このようなテーマで意見交換の場を持たせていただきました。